

プログラム構成

10月26日(金)・27日(土) 両日開催

●教育ICT機器・ソフトウェア等の展示・体験ブースの設置 ※は両会場に参加。

展示・体験ブース参加団体(計26団体)

上杉会場

株式会社青井黒板製作所、株式会社内田洋行*、エプソン販売株式会社、株式会社エルモ社*、NTTコミュニケーションズ株式会社、独立行政法人科学技術振興機構、シャープシステムプロダクト株式会社、Sky株式会社、スズキ教育ソフト株式会社、大日本印刷株式会社、大日本図書株式会社、株式会社帝国書院、東京書籍株式会社、東芝情報機器株式会社、株式会社ナリカ、バイオソリューションズ株式会社、パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社、株式会社日立ソリューションズ、プラス株式会社、株式会社文溪堂、光村図書出版株式会社*、株式会社ラティオインターナショナル、理想科学工業株式会社、ローランド株式会社

青葉山会場

株式会社アイ・オー・データ機器、株式会社内田洋行*、株式会社エルモ社*、富士ソフト株式会社、光村図書出版株式会社*

会場のご案内

●上杉会場(宮城教育大学附属小学校、中学校)

・バスを御利用の場合

仙台駅前 仙台ロフト前17番・19番乗り場、「旭ヶ丘駅」「鶴ヶ谷七丁目」「東仙台営業所」「高松、安養寺二丁目」行きのバスに乗り、「附属小学校前」下車徒歩3分

・電車を御利用の場合

JR東照宮駅から徒歩10分、JR北仙台駅から徒歩10分
市営地下鉄北四番丁駅から徒歩10分、市営地下鉄北仙台駅から徒歩10分

●青葉山会場(宮城教育大学附属特別支援学校)

・バスを御利用の場合

仙台駅 西口バスプール9番乗り場、「宮教大前」、「宮教大・青葉台」、「宮教大・成田山」行きのバスに乗り、「宮教大前」下車徒歩7分

・自動車の場合

東北自動車道 仙台宮城インターチェンジから4km、
仙台駅から6km



参加申込みについて

全国生涯学習ネットワークフォーラム2012ウェブサイトからお申込みください。
http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/shougaigakushu/1307857.htm
(文部科学省ウェブサイト)

○全国生涯学習ネットワークフォーラム2012 ICT分科会への御来場に際して(御注意)

- ・10月26日(金)については、参加申込みウェブサイトにおいて、お弁当(800円/1食、飲み物代込み)の注文が可能です。会場周辺はコンビニや飲食店が少ないため、お弁当を注文されるか、各自で持参されるようお願いいたします。なお、お弁当を御希望される場合は、ウェブサイトでの参加申込みと合わせて事前に御注文ください。当日の御注文は対応いたしかねます。
- ・自家用車での御来場につきまして、両会場とも駐車場を用意いたしますが、駐車可能な台数が限られておりますので、可能な限り公共交通機関を御利用ください。
- ・本イベントの会場は、土足での入場はできません。スリッパは御用意いたしますが、数に限りもございますので、可能な限り上履き等を御持参ください。

お問い合わせ

文部科学省生涯学習政策局参事官(学習情報政策担当) 付

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL: 03-5253-4111 (内線2659) FAX: 03-6734-3712

E-mail: gakusyu@mext.go.jp

まなびピア2012

全国生涯学習

ネットワークフォーラム2012

ICT分科会 さあ!新たな学びに触れてみよう!!

テーマ 「ICTを活用した21世紀にふさわしい学びの創造」

会場 宮城教育大学附属学校園

上杉会場: 仙台市青葉区上杉6-4-1 (附属小学校、中学校)

青葉山会場: 仙台市青葉区荒巻字青葉395-2 (附属特別支援学校)

日程 10月26日(金)

10月27日(土)

	上杉会場		青葉山会場		上杉会場
	小学校	中学校	特別支援学校		
9時					展示・体験ブース開設
10時	オープニング 10:00~10:15		オープニング 10:00~10:15		
11時	公開授業① 10:35~11:20		公開授業① 10:35~11:20		
12時	公開授業② 11:35~12:20	公開授業② 11:30~12:20	公開授業② 11:35~12:20		
13時	昼休み 12:20~13:10		昼休み 12:20~13:30		
14時	ポスターセッション 13:10~14:00		ポスターセッション 13:30~14:20		
15時		公開授業③ 13:30~14:20			
16時	公開研究会 14:40~16:10		公開研究会 14:40~15:10		
17時	情報交換会 17:00~				



10月26日(金) 上杉会場、青葉山会場で開催

●公開授業

附属小学校 ①10:35~11:20 ②11:35~12:20

①図画工作(2年) / 「紙を立てた形から」

作品の製作過程を写真とメモでタブレットPCに記録する。デジタルポートフォリオとして、本時でつくり変えた作品と前時までのものを比較し、自己評価する。

①社会(4年) / 「県の広がり」

地図と航空写真を切り替えながら表示することで交通網を読み取る。気づいたことをグループで同時編集できるタブレットPCの白地図に書き込み、共有する。

①算数(5年) / 「図形の面積」

図形の面積の求め方をタブレットPC上で表現する。電子黒板に児童の画面を転送・共有し、個々の考えを比較検討する。代表的なものを印刷・掲示し、考えを整理する。

②体育(2年) / 「お話マット」(マットあそび)

マット遊びで体の動かし方をタブレットPCで撮影する。グループやクラスで振り返りに使ったり、次時の導入時に活動のポイントを説明する教材として提示する。

②国語(3年) / 調べたこと整理して発表しよう
「わたしたちの学校の行事を紹介しよう」

下学年に遠足を紹介するために、タブレットPCから写真を選び、発表資料を作成する。発表の様子をカメラで撮影したものを電子黒板で共有し、推敲を図る。

②いすみタイム(5年総合的な学習の時間)
「災害対策マニュアルを作ろう」

学校の周りがある、災害時の避難所や知っておきたい場所をカメラで撮影してきたものをタブレットPC上で衛星写真に貼り込み、「見える防災マップ」をつくる。

附属中学校 ②11:30~12:20 ③13:30~14:20

②理科(2年) / 「電流の性質とその利用」

電流・電圧・発熱量の実験結果の関係を考える際、タブレットPCで測定値を整理・考察したものをグループで検討する。結果を電子黒板に転送し、クラスで共有する。

③国語(3年) / 「ごんぎつね」

ごんぎつねの「赤い鳥」版と草稿を比較する際、言語活動の充実のためにタブレットPCからソーシャルリーディング機能を用いて読みを交流し、批評する力を高める。

附属特別支援学校 ①10:35~11:20 ②11:35~12:20

①小学部(3年、4年) / 「ことば、かず」

タブレットPCを用いて、画面上の平仮名を指でなぞり書きしたり、画面上のリンゴの絵などを指で移動して数を数える。児童の操作は自動判定される。

①中学部(1年、3年) / 「国語」

マウスやキーボード操作が困難な生徒が、指で画面を操作することによって、学習のツール及びコミュニケーション手段としてタブレットPCを活用する。

②高等部(1年、3年) / 「コミュニケーション」

開発したアプリを生徒が使用して、音声入力で2択質問を作って提示し、友達は指で選択する。これにより、生徒同士の直接のコミュニケーションが実現される。

②学習支援室(高等部1年、2年) / 「国語、数学」

複数の生徒の学習の進行状況を同時に把握することは困難であるが、生徒がタブレットPCで学習することにより、教師が深く観察し、個に応じた指導が可能となる。

●ポスターセッション ICTを活用した教育に先進的に取り組んでいる学校・教育委員会の取組を紹介します。

上杉会場 13:10~14:00 山形県寒河江市立高松小学校 / 秋田県八峰町立水沢小学校 / 青森県十和田市立北園小学校 / 上越教育大学附属中学校 / 茨城県つくば市教育委員会(茨城県つくば市立吾妻小学校)

青葉山会場 13:10~14:00 佐賀県立中原特別支援学校 / 香川県立高松養護学校 / 香川大学教育学部附属特別支援学校 / 愛知県立みあい養護学校 / 沖縄県立森川特別支援学校(沖縄県立総合教育センター)

●公開研究会 授業におけるICT活用ポイントや、会場校のこれまでの取組等について総括します。

上杉会場 14:40~16:10 コーディネーター 稲垣 忠(東北学院大学教養学部 准教授) 鶴川 義弘(宮城教育大学環境教育実践研究センター長 教授)

青葉山会場 14:40~15:40 コーディネーター 坂井 聡(香川大学教育学部特別支援教育講座 准教授) 野口 和人(宮城教育大学特別支援教育総合研究センター 教授)

10月27日(土) 上杉会場のみで開催

●基調講演 9:30~10:00

21世紀にふさわしい新たな学びの創造

講師:東原 義訓 信州大学教育学部教授

学びのイノベーション推進協議会委員、学びのイノベーション推進協議会小中学校ワーキンググループ主査。学校教育の情報化に関する懇談会デジタル教科書・教材、情報端末ワーキンググループ委員を務め、「教育の情報化ビジョン」策定に参画。



●トークセッション 10:15~10:45

教育の情報化に対する期待について

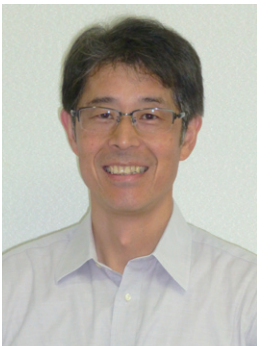
教育の情報化について、文部科学省、宮城県教育委員会、宮城教育大学のそれぞれの取組を紹介しつつ、教員の指導力向上について、それぞれの立場から意見交換を行います。



見上 一幸 宮城教育大学長



高橋 仁 宮城県教育委員会教育長



上月 正博 文部科学省大臣官房審議官

●パネルディスカッション 11:00~12:30

教育の情報化の現状と今後の展開

各校におけるICTを活用した教育の現状や、今後の展開・可能性について議論を行います。

コーディネーター

パネリスト



稲垣 忠 東北学院大学教養学部准教授



五十嵐 俊子 東京都日野市立平山小学校長



毛利 靖 茨城県つくば市立春日中学校教頭



石井 一直 佐賀県立中原特別支援学校校長



宮崎 洋文 宮城教育大学附属小学校教頭



山尾 健一 宮城教育大学附属中学校教頭



小野寺 完治 宮城教育大学附属特別支援学校副校長

